

|          |                          |    |   |   |   |
|----------|--------------------------|----|---|---|---|
| 国語<br>七一 | 第三学年及び第四学年の内容<br>送りがな・活用 | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|----------|--------------------------|----|---|---|---|

|               |
|---------------|
| 取り組んだ日<br>月 日 |
|---------------|

「泳ぐ」という動きを表す言葉の送りがなを次の文の（ ）に  
合うように直し、書きましょう。

- ① 犬が（ ）。
- ② 流れの速い川は、あぶないので決して（ ）ないこと。
- ③ 選手になりたいので、最後まで絶対に（ ）ます。
- ④ （ ）ときは、ゴーグルをしている。
- ⑤ あと二十五メートル（ ）ば、練習が終わる。
- ⑥ 「最後までがんばって（ ）」「と父にはげまされた。

|           |                          |    |   |   |   |
|-----------|--------------------------|----|---|---|---|
| 国語<br>七一二 | 第三学年及び第四学年の内容<br>送りがな・活用 | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-----------|--------------------------|----|---|---|---|

|               |
|---------------|
| 取り組んだ日<br>月 日 |
|---------------|

「続く」という動きを表す言葉の送りがなを次の文の（ ）に  
合うように直し、書きましよう。

- ① ここから展望台までは、急な上り坂が（ ）。
- ② リコーダーは強くふきすぎると、息が（ ）ない。
- ③ 上巻の後は、下巻に（ ）ます。
- ④ このまま雨のふらない日が（ ）ば、水不足の心配がある。
- ⑤ ひなん訓練では、間を空けずに前の人に（ ）う。
- ⑥ もう五日も雨の日が（ ）た。明日こそは晴れてほしい。

|           |                          |    |   |   |   |
|-----------|--------------------------|----|---|---|---|
| 国語<br>七―三 | 第三学年及び第四学年の内容<br>送りがな・活用 | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-----------|--------------------------|----|---|---|---|

|               |
|---------------|
| 取り組んだ日<br>月 日 |
|---------------|

「落ちる」という動きを表す言葉の送りがなを次の文の（ ）に  
合うように直し、書きましよう。

- ① くつについたどろが、なかなか（ ）ない。
- ② 野球では、打ったボールが線の外側に（ ）たら、ファウルだ。
- ③ サルも木から（ ）【ことわざ】
- ④ 日が（ ）とき、夕焼けで西の空が、赤やピンクに見えること  
がある。

⑤ 近くに雷が（ ）ば、ていでん停電になるかもしれない。

|           |                          |    |   |   |   |
|-----------|--------------------------|----|---|---|---|
| 国語<br>七一四 | 第三学年及び第四学年の内容<br>送りがな・活用 | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-----------|--------------------------|----|---|---|---|

取り組んだ日  
月 日

「見える」という動きを表す言葉の送りがなを次の文の（ ）に  
合うように直し、書きましよう。

- ① 真っ暗で、何も（ ）ない。
- ② 冬の晴れた日には、教室から富士山が（ ）ます。
- ③ この部屋のまどからは、海が（ ）。
- ④ 都庁とちやうに雲がかかっているように（ ）ときは、雨のことが多い。
- ⑤ キャンプファイヤーの後、流れ星が（ ）ばいいな。

|           |                          |    |   |   |   |
|-----------|--------------------------|----|---|---|---|
| 国語<br>七一五 | 第三学年及び第四学年の内容<br>送りがな・活用 | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-----------|--------------------------|----|---|---|---|

|               |
|---------------|
| 取り組んだ日<br>月 日 |
|---------------|

「見る」という動きを表す言葉の送りがなを次の文の（ ）に  
合うように直し、書きましよう。

- ① 問題をとき終わるまでは、答えを（ ）ない。
- ② 話を聞くときは、話している人をしっかりと（ ）ます。
- ③ 夜、外に出て、星を（ ）。
- ④ 車が来っていないかを（ ）ときは、右・左・右の順にたしか  
める。じゆん
- ⑤ 時計を（ ）ば、今は何時か分かる。
- ⑥ 「しっかりとボールを（ ）。」と、コーチに言われた。

|           |                          |    |   |   |   |
|-----------|--------------------------|----|---|---|---|
| 国語<br>七一六 | 第三学年及び第四学年の内容<br>送りがな・活用 | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-----------|--------------------------|----|---|---|---|

取り組んだ日  
月 日

「交わる」という動きを表す言葉の送りがなを次の文の（ ）に  
合うように直し、書きましょう。

① 線路の二本のレールは、どこまでも同じはばで続き、決して  
（ ）（ ）ない。

② ここで中央通りと晴海通りが（ ）（ ）ます。  
ちゅうおうおうじお はるみとお

③ 三本の道が一か所で（ ）（ ）。

④ 直線と直線が（ ）（ ）とき、直角ができることがある。

⑤ 朱しゆに（ ）（ ）ば、赤くなる。【ことわざ】

|           |                          |    |   |   |   |
|-----------|--------------------------|----|---|---|---|
| 国語<br>七一七 | 第三学年及び第四学年の内容<br>送りがな・活用 | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-----------|--------------------------|----|---|---|---|

取り組んだ日  
月 日

「食べる」という動きを表す言葉の送りがなを次の文の（ ）に  
合うように直し、書きましよう。

- ① ネコが、なかなかえさを（ ）ない。
- ② 自分の分は、残さずに全部（ ）ます。
- ③ 池のコイが、えさを（ ）。
- ④ 給食を（ ）ときは、はんの友達といっしょに食べます。
- ⑤ よくかんで（ ）ば、食べ物が消化されやすくなります。
- ⑥ 「好ききらいせずに、何でも（ ）と、父にいつも言われて  
いる。

|           |                          |    |   |   |   |
|-----------|--------------------------|----|---|---|---|
| 国語<br>七―八 | 第三学年及び第四学年の内容<br>送りがな・活用 | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-----------|--------------------------|----|---|---|---|

|               |
|---------------|
| 取り組んだ日<br>月 日 |
|---------------|

「入れる」という動きを表す言葉の送りがなを次の文の（ ）に  
合うように直し、書きましよう。

- ① 学習に関係のない物は、筆箱に（ ）ない。
- ② さとうの後に、しょう油を（ ）ます。
- ③ 自転車のタイヤに空気を（ ）。
- ④ ボールに空気を（ ）ときは、入れすぎないように注意する。
- ⑤ 最後に電池を（ ）ば、モーターカーの完成だ。かんせい
- ⑥ 念ねんには念を（ ）。**【ことわざ】**



|           |                          |    |   |   |   |
|-----------|--------------------------|----|---|---|---|
| 国語<br>七一九 | 第三学年及び第四学年の内容<br>送りがな・活用 | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-----------|--------------------------|----|---|---|---|

|               |
|---------------|
| 取り組んだ日<br>月 日 |
|---------------|

「書く」という動きを表す言葉の送りがなを次の文の（ ）に  
合うように直し、書きましよう。

- ① 名前を（ ）ないと、だれのものか分からない。
- ② 作文では、一行目に題を（ ）ます。
- ③ 段落のはじめは、一ます空けて（ ）。
- ④ 文章を（ ）ときは、習った漢字を使って書く。
- ⑤ あと五文字（ ）ば、今日の宿題が終わる。
- ⑥ 「字を書くときはていねいに（ ）（ ）というのが、ぼくのおじ  
いさんの口ぐせだ。

|           |                          |    |   |   |   |
|-----------|--------------------------|----|---|---|---|
| 国語<br>七—十 | 第三学年及び第四学年の内容<br>送りがな・活用 | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-----------|--------------------------|----|---|---|---|

取り組んだ日  
月 日

「閉じる」という動きを表す言葉の送りがなを次の文の（ ）に  
合うように直し、書きましよう。

- ① ちようつがいがゆるむと、ドアがきちんと（ ）ない。
- ② 話を聞くときは、口を（ ）ます。
- ③ 雨がやんだので、かさを（ ）。
- ④ 読みかけの本を（ ）ときは、しおりをはさむとよい。
- ⑤ 目を（ ）ば、大好きな風景がうかんでくる。
- ⑥ 「水門を（ ）。」という指令がくだった。